

日本農芸化学会中部支部第40回総会・第112回例会

日時：平成6年5月21日(土) 13:00より

会場：信州大学農学部

13:00 総会

13:20 平成6年度農芸化学技術賞受賞講演

鶏卵抗体の大量生産および産業利用技術の開発

八田 一、赤池 重光、金 武祚 (太陽化学(株)総合研究所)

14:00 シンポジウム

「酵素阻害剤と生物機能調節」

14:00 開会の辞

14:05 *Bacillus* 属細菌の菌体外および菌体内プロテアーゼインヒビター

鵜高 重三 (名古屋大学農学部)

14:45 細胞増殖におけるDNAトポイソメラーゼⅡの生理機能

—特異的阻害剤 bis(2,6-dioxopiperazine), ICRF-193, を用いた解析—

安藤 俊夫 (愛知県ガンセンター研究所)

15:25 休 憩

15:40 経口消炎プロテアーゼ *Serratia* protease の消炎効果発現における血中プロテアーゼインヒビター“ α -マクログロブリン”の関与

垣沼 淳司 (名古屋大学農学部)

16:20 レニン・アンギオテンシン系の進歩 —分子から個体レベルまで—

村上 和雄 (筑波大学応用生物化学系)

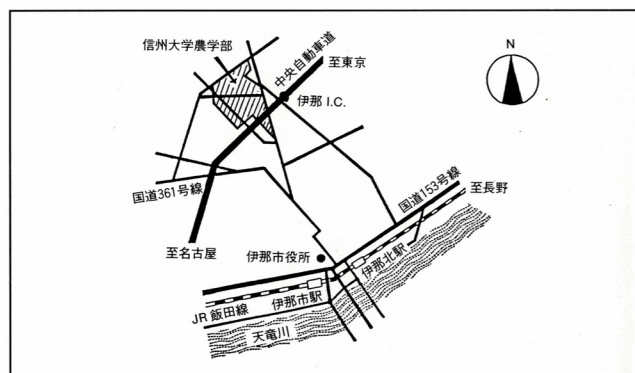
17:00 機能性食品素材としての酵素阻害剤

茅原 紘 (信州大学農学部)

17:40 閉会の辞

19:30 懇親会

伊那高原保養センター、羽広荘(0265-78-6155)



問い合わせ先:

〒399-45 長野県上伊那郡南箕輪町 8304

信州大学農学部

只左 弘治 (シンポジウム責任者)

Tel: 0265-72-5255

Fax: 0265-72-5259



会場への案内 : 左図参照

中央道高速バス: 伊那インター前下車徒歩5分

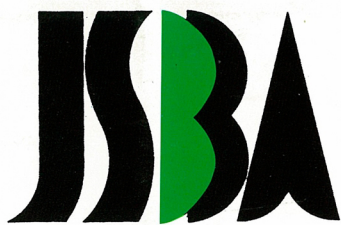
JR飯田線 : 伊那市駅下車、伊那バス伊那営業所
から西箕輪線に乗り、大学前で下車
約15分

主催: 日本農芸化学会中部支部

名古屋大学農学部内

Tel: 052-789-4125, 4092

Fax: 052-789-4120



日本農芸化学会中部支部第113回例会

日時：平成6年10月6日(木)12:30より

会場：梶山女学園大学生活科学部

平成6年度 日本農芸化学会奨励賞受賞講演 13:00~13:30

キノコ由来の細胞機能調節物質の生物有機化学的・生化学的研究 (静岡大農) 河岸洋和

支部功労者表彰式 12:35~12:55

一般講演 13:35~17:00



ヤマブシタケ菌糸体

プログラム

13:35~17:00 一般講演

A会場

- A-1 13:35 新規紅藻多糖分解酵素の性質
○野村和代、村松五月、内藤ゆかり、吉沢康子*、常広 淳*、福井史生*、伊藤昌雄 (新日本化学工業、*昭和産業・総合研究所)
- A-2 13:47 オゴノリ多糖を分解する新規酵素の分解生成物とそのマクロファージ活性化作用
○野村和代、吉沢康子*、常広 淳*、村松五月、内藤ゆかり、福井史生*、伊藤昌雄 (新日本化学工業、*昭和産業・総合研究所)
- A-3 13:59 レンゲ根粒菌の産生する多糖の構造に関する研究
久松 真、○野村周平、寺西克倫、山田哲也、室岡義勝* (三重大・生物資源、*広島大・工)
- A-4 14:11 ラット血漿に於ける強制投与カルシウムの動態
○影 燈、竹内久直 (静岡大・農・応生化)
- A-5 14:23 新しい血液流動測定法による食品の抗血栓活性測定
○須崎千鶴、河井信子、原ひとみ、山中みどり、並木和子 (梶山女学園大・生活科学)
- A-6 14:35 大豆とゴマの併用によるビタミンE活性の増強効果
山下かなへ、○飯塚佳恵、津山華代、並木満夫 (梶山女学園大・生活科学)
- A-7 14:47 二、三のD-リボーストリペンゾートの誘導体 *in vitro* 細胞接着阻害活性。細胞接着阻害活性を有する糖質誘導体の研究：第1報
○柏村直樹、北川 優*、出口修平*、辻 淳一*、野間誠司*、土井田貴子*、西川司朗 (三重大・生物資源、*東洋紡・医薬研)
- A-8 14:59 ムラサキガイ (*Mytilus edulis*) に対する G-regulator 類縁体の付着忌避活性について
○浅井栄子、菊地浩次郎、衛藤英男、伊奈和夫 (静岡大・農・応生化)
- A-9 15:11 セレンテレートルシフェリンホモログのペルオキシド体に関する解析
○寺西克倫、久松 真、山田哲也 (三重大・生物資源)
- A-10 15:23 放線菌 USF-580株の生産する活性酸素捕捉物質
○木下由理、森光康次郎、廣田 陽 (静岡県立大・食品栄養科学)
- A-11 15:35 カビ由来のグルタチオンと拮抗する抗菌物質について
○北城 彰、森光康次郎、廣田 陽 (静岡県立大・食品栄養科学)
- A-12 15:47 ワイルドライスに含まれる抗酸化物質の構造と機能
大澤俊彦、○則信誠司、細谷信彰、川岸昇朗、*越智宏倫 (名古屋大・農、*日本老成制御研)
- A-13 15:59 2-(3-Oxaalkylidene) cyclohexanone 類の合成と抗突然変異原活性について
入江鏡三、○渋谷健治 (信州大・生質)



問い合わせ先：

〒464 名古屋市千種区星ヶ丘元町17-3

梶山女学園大学 生活科学部 食品栄養学科 並木 和子
TEL (052) 781-1186 FAX (052) 782-7265

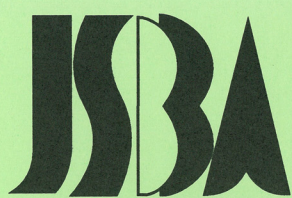
- A-14 16:11 Michael 付加を用いた (E)-2-Hexylidene-3-octylcyclopentanone の合成と抗突然変異原活性について
入江鏡三、○岡部哲也 (信州大・生質)
- A-15 16:23 ナシ黒斑病菌毒素の生合成研究—特にβ-メチルフェニルアラニン部分について—
○鈴木 誠、荒俣陽子、中塚伸一 (岐阜大・農)
- A-16 16:35 α-系列ガングリオシドの合成
○堀田憲司、石田秀治、木曾 真、長谷川明 (岐阜大・農)
- A-17 16:47 アミロースを側鎖とする枝分かれ高分子の酵素触媒重合を経る合成
○小林一清、神谷昌子、榎本直樹* (名古屋大・農、*中荳酢)
- B会場
- B-1 13:35 効率的な尿処理における優占細菌相の変遷について
○Lee Boon Sing*、村上弘毅*、青木 満**、入江鏡三* (*信州大・生質 (岐阜連大農)、**伊那中央衛生センター)
- B-2 13:47 海洋生物からのモノハロメタンの生成
伊藤伸哉、○辻田実加、安藤隆幸 (福井大・工・生化工)
- B-3 13:59 微生物由来 PL reductase の確認
○榎本 雅、山田晴義、井上孝司、早川享志、柘植治人 (岐阜大・農)
- B-4 14:11 酸性飲料異臭から分離された好酸性 *Bacillus* 属細菌の Aromatic alcohol dehydrogenase について
○西田智亮、吉田衛市*、田原康孝 (静岡大・応生化、*大和製缶総合研究所)
- B-5 14:23 サーモリンの活性中心に及ぼす微量有機溶媒効果の速度論的解析
稲垣 毅*、只左弘治、○佐藤浩一、茅原 紘 (信州大・農、*岐阜大・連農)
- B-6 14:35 DL-グルタミンに対する *Bacillus subtilis* 由来グルタミナーゼの触媒作用
山田哲也、○杉本真弘、小瀬古茂樹*、寺西克倫、久松 真 (三重大・生物資源、*現在サンジシ醸造)
- B-7 14:47 ビール酵母 Branching Enzyme の分子性状について
○坂田敏之、辰巳英三、早川享志、柘植治人 (岐阜大・農・食品科学)
- B-8 14:59 膜リパーゼとコリパーゼ、胆汁酸塩、 Na^+ 、 Ca^{2+} の相互作用
○仲 恭寛、中村光男* (天野製薬・中研、*弘前大・医)
- B-9 15:11 細菌α-アミラーゼの耐熱機構
○植田賢哉、山形秀夫*、塚越規弘、鶴飼重三** (名古屋大・農、*東京薬科大・生命科学、**東京農大・農)
- B-10 15:23 *Bacillus brevis* を用いたヒトインターロイキン6の生産
○宮崎真紀子、山形秀夫*、塚越規弘、鶴飼重三** (名古屋大・農、*東京薬科大・生命科学、**東京農大・農)
- B-11 15:35 枯草菌コールドショック変異の分子生物学的研究
○山中宏一、高野光男*、関口順一 (信州大・繊維、*大阪大・工)
- B-12 15:47 蛍光 *in situ* hybridization によるヒト MHC 領域の DNA 複製時期の解析
奥村克純、○菱田浩司、野上正弘、田口 寛、安藤麻子*、猪子英俊*、深川竜郎*、菅谷公彦**、松本健一**、池村淑道** (三重大・生物資源、*東海大・医、**遺伝研・進化)
- B-13 15:59 *Candida Berkhout* (Candidaceae) に属する諸菌株の18S および26S rRNA の部分塩基配列に基づく分子系統
山田雄三、○矢野潤一、松田美七子、見方洪三郎* (静岡大・農、*財・酸酵研)
- B-14 16:11 *Eeniella nana* の18S および26S rRNA の部分塩基配列に基づく分子系統
山田雄三、○松田美七子、見方洪三郎* (静岡大・農、*財・酸酵研)
- B-15 16:23 *Yamadazyma Billon-Grand* (Saccharomycetaceae) に属する諸菌株の18S および26S rRNA の部分塩基配列に基づく分子系統：Kodamae gen. nov. の提案
山田雄三、○鈴木智子、松田美七子、見方洪三郎* (静岡大・農、*財・酸酵研)
- B-16 16:35 酢酸菌の16S rRNA の部分塩基配列に基づく分子系統：とくに、*Glucosacetobacter Yamada and Kondo* 1984について
山田雄三、○星野健一郎、石川哲也 (静岡大・農・応生化)
- 17:30-19:00 懇親会 梶山女学園大学学生会館にて (無料)

会場への案内

名古屋駅から地下鉄東山線で「星ヶ丘」下車、地下鉄6番出口から徒歩5分 (名古屋—星ヶ丘 約18分)

主催：日本農芸化学会中部支部
名古屋大学農学部内

Tel: 052-789-4125, 4092 Fax: 052-789-4120



バイオサイエンスの新しい次元を求めて

日本農芸化学会本部70周年・中部支部40周年記念講演会および記念祝賀会

日時：1月20日(金) 13:00~18:30

会場：愛知厚生年金会館

記念講演会

- | | | | |
|-------------|----------------------|-----------|------|
| 13:00 | 開会の辞 | 中部支部支部長 | 川岸舜朗 |
| | 会長挨拶 | 農芸化学会会長 | 山田秀明 |
| 13:20 | 農芸化学 | | |
| | —私の歩みと将来への期待— | 名古屋大学名誉教授 | 瓜谷郁三 |
| 13:50 | 新しい昆虫生理活性物質を求めて | | |
| | —微生物代謝産物から脳神経ペプチドまで— | 東京大学教授 | 鈴木昭憲 |
| 14:40~15:00 | 休憩 | | |
| 15:00 | いもがふくらむとき | | |
| | —物質集積機能の遺伝子統御— | 名古屋大学教授 | 中村研三 |
| 15:50 | 栄養・運動と細胞機能 | 滋賀県立大学準備室 | 杉本悦郎 |
| 16:40 | 閉会の辞 | 名古屋大学教授 | 牧野志雄 |

入場無料・来聴観迎

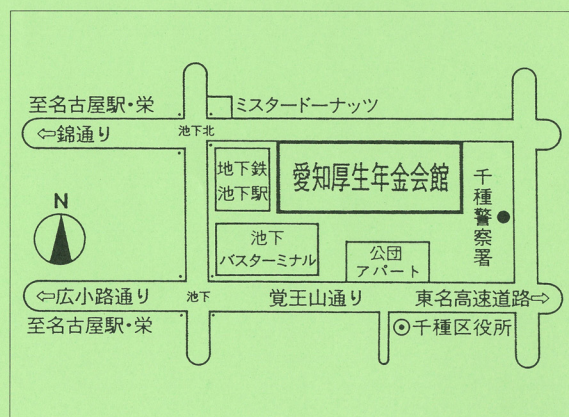
記念祝賀会および第3回支部新年交流会

会場：講演会場の隣

時間：17:00~18:30

会費：一般 7,000円、学生 2,000円

支部会員の皆様のご参加をお願いします



問い合わせ・申込先

〒464-01 名古屋市千種区不老町
名古屋大学農学部内 日本農芸化学会中部支部
TEL 052-789-4125 (川岸舜朗)
052-789-4092 (市原茂幸)
FAX 052-789-4120

環境と生物

日本農芸化学会中部支部若手シンポジウム
(第121回例会)

日時：平成10年1月10日(土) 午後1時より

会場：名古屋大学農学部(名古屋市千種区不老町)

交通：地下鉄東山線「東山公園」駅下車、南へ500m

会費：無料(お気軽にご参加ください)

13:00~13:40

キシロースに関わる奇妙な酵素たち

—微生物の酵素を用いたキシランの新たな高度利用法の提案—

鈴木徹(岐阜大・農)

13:40~14:20

培養環境における放線菌・カビ類の菌糸形態変化

朴龍洙(静岡大・農)

14:20~15:00

枯草菌ゲノムの機能解析: 68°-80° 領域について

○山本博規、関口順一(信州大・繊維・応生)

—コーヒブレイク—

15:20~16:00

Nicotiana属植物の塩ストレス耐性メカニズムについて

○山田茂裕、小森俊之、Patricia N. Myers、
今関英雅(JT遺伝育種研究所)

16:00~16:40

“Bio-plus Tree” 構想—リグニン生合成の制御によるパルプ適木の創出—

河津哲(王子製紙・森林資源研究所)

17:00~

懇親会：名古屋大学ユニバーサルクラブ(会費2000円，学生無料)

問い合わせ先：日本農芸化学会中部支部

(担当：中野秀雄 TEL 052-789-4143 FAX 052-789-4145)

日本農芸化学会中部支部例会

日時： 平成10年6月5日（金） 13:00～

会場： 信州大学農学部30番教室。 長野県上伊那郡南箕輪村8304

交通： JR東海飯田線伊那市駅より伊那バス（西箕輪線）信大前下車、
あるいは、中央高速バスにて伊那インター下車、徒歩15分

総 会 (13:00～13:30)

農芸化学奨励賞受賞講演 (13:30～14:15)

細菌胞子発芽の分子メカニズム

(名大院・生命農学) 森山 龍一

シンポジウム (14:15～17:30)

－生物多様性・多様化の分子生物学－

培養困難な微生物の多様性と挙動

(東大院・農) 小柳津 広志

グラム陽性細菌の系統分類と化学分類

(理研・系統保存) 鈴木 健一朗

生態系の中のバクテリアの位置、原始共生系という考え方

(信大・医短) 加藤 憲二

きのこの遺伝資源の多様性

(信大・農) 福田 正樹

懇 親 会： 大芝荘にて (19:00～) (会費：3,000円)

懇親会に加えて、大芝荘に宿泊（朝食つき）される場合は合計10,000円。

なお、懇親会参加および宿泊希望の方は、5月22日までに下記世話人（唐澤）
へ必ずご連絡下さい。

（世話人）

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304

信州大学農学部応用生命科学科

唐澤 傳英

TEL:0265-72-5255(ext.521 or 533)

FAX:0265-72-5259

（第122回支部例会）

主催：日本農芸化学会中部支部

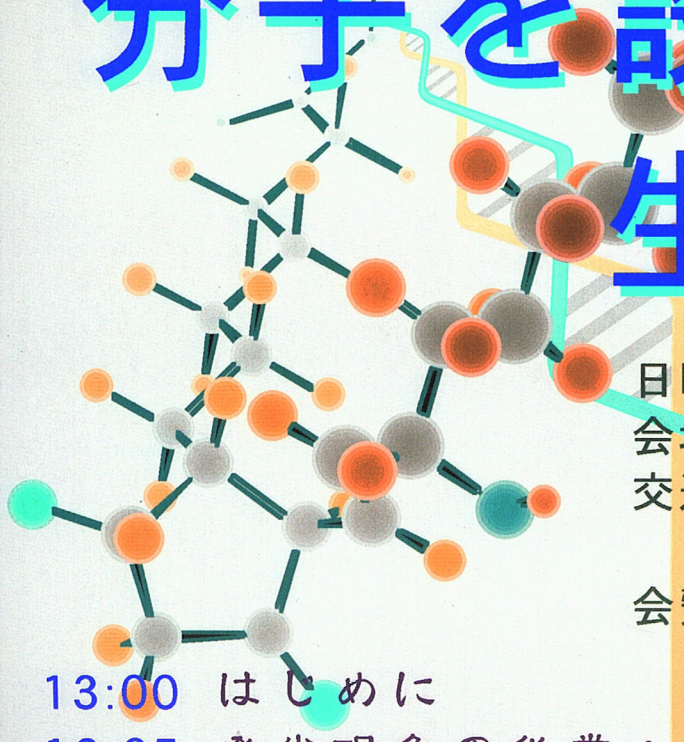
名古屋大学大学院生命農学研究科内

TEL: 052-789-4123

FAX: 052-789-5050

日本農芸化学会中部支部若手シンポジウム（第123回例会）

分子を設計して 生命を探る



日時：1998年7月25日（土）午後1時より
会場：岐阜大学農学部（岐阜市柳戸1番1）
交通：JR岐阜駅または名鉄新岐阜駅より
岐阜バス岐大キャンパス線利用
会費：無料（お気軽にご参加ください）

13:00 はじめに

13:05 発光現象の化学：発光素子の分子設計による機能
発現の制御
三重大学 寺西 克倫

13:45 脂質アルデヒド：生命機能を脅かす生理活性物質
名古屋大学 内田 浩二

14:25 制ガン剤を用いたアポトーシス機構の解析
慶応大学 井本 正哉

15:05 休憩

15:20 血圧調節物質レニンの立体構造から機能を探る
岐阜大学 鈴木 文昭

16:00 合成核酸を用いた遺伝子の検出
日本製粉 布藤 聡

16:40 おわりに

17:00 懇親会（会費：1,500円、学生無料）

お問い合わせ：

日本農芸化学会中部支部（Tel.: 052-789-4123、Fax: 052-789-5050）

（世話人）岐阜大学農学部生物資源利用学科 石田 秀治

Tel. & Fax: 058-293-2918, Email: ishida@cc.gifu-u.ac.jp

日本農芸化学会中部支部第124回例会

日 時：平成10年10月3日(土) 13:00より

会 場：名古屋大学農学部(名古屋市千種区不老町)第3、第8講義室

参加費：無料

13:00 例会開催 支部長挨拶
支部功労賞授与式

農芸化学奨励賞受賞講演

13:20 石田秀治(岐阜大学農学部)
「セレクトリンドおよびブロッカーの分子設計と合成」

14:10~14:30 休 憩

一般講演 14:30~16:54(一題12分:発表10分、討論2分)

A会場(第3講義室)

- A-1 縮小化したウイルス由来キャップ非依存性翻訳促進剤配列を用いた、迅速な生体外遺伝子発現システムの構築
○笠原 悟¹、河原崎泰昌¹、小寺奈津子¹、関口 哲²、中野秀雄¹、山根恒夫¹
(¹名大院・生命農学、²日本製粉(株)生物科学研究部)
- A-2 酵母のコハク酸デヒドロゲナーゼ遺伝子破壊が有機酸組成に及ぼす影響
○久保義人¹、高木博史²、中森 茂²(¹福井食加研、²福井県大・生物資源)
- A-3 Xanthomonas sp.AK株の生産するキチナーゼおよびβ-1、3-グルカナーゼの精製と諸性質の検討
○山岡秀亮¹、林 秀謙¹、菊田秀一²、木村哲哉¹、栗冠和郎¹、大宮邦雄¹
(¹三重大・生物資源、²遺伝子施設)
- A-4 C.perfringens胞子の発芽特異的アミダーゼの活性発現に及ぼすプレプロ領域の役割
○岡村幸子、木全雅也、森山龍一、牧野志雄(名大院・生命農学)
- A-5 糸状菌アスコルビン酸オキシダーゼのタンパク工学的解析
○梶田幸子¹、竹田加代子²、伊藤 誉²、芳陵一生³、高橋 守³、加藤雅士¹、塚越規弘¹(¹名大院・生命農学、²イチビキ(株)、³旭化成工業(株))
- A-6 麹菌タカアミラーゼA遺伝子の発現誘導機構に関する解析
—DNA結合タンパク質SREBの結合特性—
○谷 修治、加藤雅士、小林哲夫、塚越規弘(名大院・生命農学)
- A-7 麹菌A.oryzae CCAA結合因子AoCPによるタカアミラーゼA遺伝子の発現制御機構の解析
○橋本秀紀、田中昭光、加藤雅士、小林哲夫、塚越規弘(名大院・生命農学)
- A-8 糸状菌A. nidulans広域転写制御因子AnCPに制御される遺伝子の検索
○牧野能士、加藤雅士、小林哲夫、塚越規弘(名大院・生命農学)
- A-9 A.nidulans glycogen branching enzyme遺伝子の単離と解析
○松野 彩、田中昭光、加藤雅士、小林哲夫、塚越規弘(名大院・生命農学)
- A-10 サリチル酸処理タバコ培養細胞における活性酸素生成機構(ESRによる解析)
○河野智謙¹、Reinhard Pinontoan²、森光康次郎¹、魚住信之^{1,2}、武藤尚志^{1,2}
(¹名大院・生命農学、²名大・生物分子応答研究センター)

B会場(第8講義室)

- B-1 即時型、遅延型アレルギーに及ぼす食品成分の影響と測定系の確立
○河戸哲弥、戸塚貴之、横越英彦(静岡県大、食品栄養科学)
- B-2 緑茶成分の脳・神経系への影響の脳微小透析法による解析
○寺島健彦、瀧戸 純、横越英彦(静岡県大、食品栄養科学)
- B-3 ミルク由来β1,4-ガラクトース転移酵素によるβ1,1-及びβ1,3-転移反応
○玉腰英明、西田芳弘、北川由樹、小林一清(名大院・工学)
- B-4 粘液細菌の一種より得られたピチアゾール型新規抗菌性物質cystothiazole C-F
○鈴木芳宏¹、小鹿 一¹、坂神洋次¹、不藤亮介²、山中 茂²
(¹名大院・生命農学、²味の素中研)
- B-5 アジサイ萼片の青色発現5. 青色アジサイ萼片のプロトプラスト化による色素成分の分析—
○外山友紀¹、吉田久美²、近藤忠雄³
(¹名大院・人間情報学、²椋山女大・生活科学、³名大・化測機センター)
- B-6 炭素置換サイトカイニンアナログとしての6-アルキニル-1-デアザプリンおよびリボシドの合成と生物活性
○黒野昌洋、芝山賢司、奥野純子、稲垣 稔、西川司朗、柏村直樹
(三重大・生物資源)
- B-7 Campylobacter jejuniリボ多糖糖鎖の部分合成
○堀 浩二、石田秀治、木曾 真(岐大・農)
- B-8 花の香気生成機構の解析(19):ブルガリアンローズからのβ-damascenone香気前駆体の単離
○橋本郁枝¹、渡辺修治¹、Peter Winterhalter²
(¹静大・農、²TU Braunschweig University)
- B-9 酵素およびカテキン添加による沢わさび中のカラシ油類(特に6-メチルチオヘキシルカラシ油)の安定化について
○丹羽達也¹、衛藤英男¹、本間一男²、高橋淳志³、熊澤茂則³、中山 勉³
(¹静大・農、²キューピー(株)、³静岡県大・食品栄養科学)
- B-10 ¹³C標識デヒドロセレンテラジン類似体の化学合成とトビイカ発光の分子機構
○久世雅樹、磯部 稔(名大院・生命農学)
- B-11 Sequence analysis of the cyclic peptides Iturin A, Plipastatin, Surfactin and their linear analogues by Q-ToF MS/MS technique.
○Thomas Franz¹, Vacharin Rukachaisirikul², Kazushi Koga¹, Sathorn Suwan¹, Minoru Isobe¹
(¹Nagoya University, School of Agricultural Sciences; ²Prince Songkhla University, Department of Chemistry)
- B-12 糖-タンパク質間の新規な結合様式・α-C-マンノシルトリプトファンの化学合成
西川俊夫、○石川 幸、磯部 稔(名大院・生命農学)

17:15 懇親会

会費：一般2,000円、学生は無料

場所：ユニバーサルクラブ(名古屋大学シンポジオン内)

【会場への交通】

地下鉄東山線、東山公園駅下車、南へ徒歩約10分。園山町交差点の南西角にある門から大学構内へ、農学部正面玄関右手の講義棟2階および3階の第3、第8講義室

主催：日本農芸化学会中部支部
名古屋大学農学部内
TEL:052-789-4123
FAX:052-789-5050

日本農芸化学会中部支部例会

日時： 平成11年6月12日（土） 13:30～17:00

会場： 三重大学生物資源学部大講義室

（三重県津市上浜町1515）

交通： 近鉄名古屋線急行で江戸橋駅下車徒歩約15分、あるいは、同特急で津駅下車タクシー約5分、バス約7分。バスは津駅前4番乗り場から乗車し大学前下車。

総 会 （13：30～14：00）

シンポジウム （14：00～17：00）

－アポトーシスと健康－

『ビタミン関連化合物によるヒトがん細胞のアポトーシス』

（三重大・生物資源）田口 寛

『キノコの抗腫瘍タンパク質のアポトーシス誘導機構』

（農水省・食総研）河村 幸雄

『皮膚とアポトーシス』

（三重大・医）水谷 仁

『経口免疫寛容とアポトーシス』

（東大院・農学生命科学）上野川 修一

懇 親 会 （17:00～18:30）

講演終了後、三重大生協にて（会費：一般2000円、学生は無料）

（世話人）

〒514-8507 津市上浜町1515

三重大学生物資源学部生物化学分野

田口 寛

Tel & Fax: 059-231-9617

E-mail: hiroshi@bio.mie-u.ac.jp

（第125回支部例会）

主催：日本農芸化学会中部支部

名古屋大学大学院生命農学研究科内

TEL: 052-789-4117

FAX: 052-789-4118

日本農芸化学会中部支部 第126回支部例会 (若手シンポジウム)

日時：平成11年7月24日(土) 10:25-16:30

会場：静岡県立大学看護学部棟13411教室(静岡市谷田52-1)

シンポジウム『食品機能研究の最前線』

特別講演

(10:30-12:30)

『食の二次機能は三次機能をもあわせもつ』

『赤ワインと健康』

川岸 舜朗(梶山女子大・生活科学)

佐藤 充克(メルシャン・酒類技術セ)

若手シンポジウム

(13:30-16:30)

『トウガラシの新規化合物群、カプシノイドの構造とその生理活性について』

古旗 賢二(静岡県大・食品栄養科学)

『トマト由来リコピンの機能性について』

大嶋 俊二(カゴメ・総研)

『カンキツ類に含まれる発がん予防候補物質の現状』

村上 明(近畿大・生物理工)

『茶の機能性』

南条 文雄(三井農林・食品総研)

懇親会

(17:00-18:30) 会場：静岡県立大学管理棟地下食堂

(会費：一般 2,000円、学生 無料)

世話人 廣田 陽

422-8526 静岡市谷田52-1

静岡県立大学食品栄養科学部

Tel 054-264-5552

主催 日本農芸化学会中部支部

名古屋大学大学院生命農学研究科内

Tel 052-789-4117

Fax 052-789-4118

[会場への交通] JR東海道線草薙駅または静岡鉄道草薙駅・県立美術館前駅
下車徒歩15分。

平成11年度 中部支部・関西支部合同大会

(中部支部第127回例会、関西支部第411回講演会)

日 時：平成11年10月1日(金)～2日(土)

会 場：ホテルグランヴェール岐山(岐阜市日ノ出町5丁目12番地、Tel: 058-263-7111)

岐阜大学農学部(岐阜市柳戸1-1、Tel: 058-230-1111)

日 程：10月1日(金) シンポジウム、懇親会(ホテルグランヴェール岐山)

10月2日(土) 一般講演、受賞講演(岐阜大学農学部)

参加費：一般2000円、学生1000円(当日受付け)

プログラム

10月1日(金) 13:00～17:00
(ホテルグランヴェール岐山)

シンポジウム「健康と生命化学」

13:00 開会の辞

13:05 「ミトコンドリアからのメッセージ」

長寿に関連したミトコンドリア遺伝子型と成人発症性疾患

(岐阜県国際バイオ研) 田中 雅嗣

13:40 「新しい高血圧治療薬プロプレスの発見と作用機序」

(武田薬品) 仲 建彦

14:15 「環境有害物質に対する生体防御の分子メカニズム」

(京大院・農) 植田 和光

14:50～15:10 休 憩

15:10 「電解機能水と健康ライフ」

(国立感染症研) 堀田 国元

15:45 「酸化ストレスに対する抗酸化物の作用」

(東大・先端研) 二不 鋭雄

16:20 「特異的構造にささえられたオボムチンの多様な生体調節機能」

(岐阜大・農) 渡邊 乾二

16:55 閉会の辞

懇親会

会 費：一般 8000円

学生 4000円 (当日受付け)

18:00～20:00

10月2日(土) 9:00～17:00
(岐阜大学農学部)

一般講演および受賞講演

9:00～12:00

一般講演(午前の部)

13:10～13:50

平成11年度 農芸化学会賞受賞講演

「微生物遺伝子の発現制御に関する基礎および応用研究」

(名大院・生命農学) 塚越 規弘

14:00～17:00

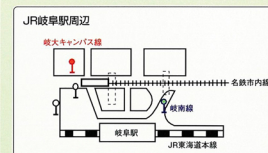
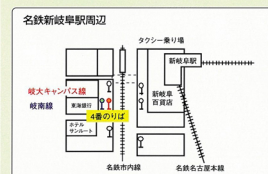
一般講演(午後の部)

(一般講演はOHPのみです。1演題12分(講演10分、討論2分))



[会場への交通]

- ホテルグランヴェール岐山までのアクセス：
JR岐阜駅または名鉄新岐阜駅から徒歩約15分。
JR岐阜駅バスターミナルまたは名鉄新岐阜駅前(東海銀行駅前支店前)4番のりばで岐阜バス乗車5分、「柳ヶ瀬」下車、西柳ヶ瀬方向へ徒歩7分。
- 岐阜大学までのアクセス：
JR岐阜駅バスターミナルで岐阜線、あるいは地下道を通って向かい側の岐大キャンパス線、または名鉄新岐阜駅前(東海銀行駅前支店前)4番のりばで同様に岐阜線もしくは岐大キャンパス線の岐阜バス「岐大大学行」乗車約30分、料金310円。



(世話人) 〒501-1193 岐阜市柳戸1-1
岐阜大学農学部
大会実行委員長 渡邊乾二
(Tel&Fax: 058-293-2928)

(問合せ先) 岐阜大学農学部 金丸義敬
(Tel&Fax: 058-293-2926)

(主 催) 日本農芸化学会中部支部・関西支部
〒464-8601 名古屋市中千種区不老町
名古屋大学大学院生命農学研究科内 日本農芸化学会中部支部
Tel: 052-789-4117, Fax: 052-789-4118 (庶務幹事) Tel: 052-789-4105 (会計幹事)

〒606-8502 京都市左京区北白川
京都大学大学院農学研究科内 日本農芸化学会関西支部
Tel: 075-753-6262, Fax: 075-753-6264 (庶務幹事) Tel: 075-753-6455 (会計幹事)

関西支部ホームページ: <http://www.bioeng.kais.kyoto-u.ac.jp/~jsbba/>

日本農芸化学会中部支部 第128回例会・シンポジウム

日 時 :

平成12年6月23日(金)12:30より

会 場 :

支部評議員会(静岡大学農学部大会議室)

特別講演・シンポジウム(大学会館)

〒422-8529 静岡市大谷836番地 (静岡大学・大谷キャンパス内)

交 通 :

静岡駅北口より

バス、静鉄13番のりば「静岡大学」行き、「静大前」下車、約25分

タクシー、約15分

プログラム :

(12:30) 支部評議員会 (農学部大会議室)

特別講演およびシンポジウム (大学会館)

(13:20) 開会の挨拶

(13:25) 特別講演 日本農芸化学会奨励賞受賞講演

「ユニークな反応を触媒する抗生物質生合成酵素、遺伝子群の解析」

大利 徹 (富山県立大学工学部生物工学研究センター 助教授)

(14:00~14:10) コーヒブレイク

シンポジウム 「バイオグリーンケミストリーの時代」

(14:10) リグノセルロース系バイオマスとその成分の微生物変換

桑原 正章 (京都大学木質科学研究所 教授)

(14:45) キチン系バイオマスの水素への微生物変換

大宮 邦雄 (三重大学生物資源学部 教授)

(15:20~15:30) コーヒブレイク

(15:30) 微生物による化学原料としての有機酸の生産

岡部 満康 (静岡大学農学部 教授)

(16:05) 化学農薬の代替えとしての微生物および代謝物

正田 誠 (東京工業大学資源化学研究所 教授)

(16:40) 閉会の挨拶

(17:00) 懇親会 (会費 2,000円、学生は無料)

会場 : 大学会館大食堂

連絡先 :

〒422-8529 静岡市大谷836

静岡大学農学部応用生物化学科 岡部 満康

庶務担当 朴(ぱく) 龍洙 (静岡大学農学部応用生物化学科)

Tel. & Fax. (054)-238-4887、e-mail: yspark@agr.shizuoka.ac.jp

Homepage <http://biotech.agr.shizuoka.ac.jp/sym/>

バイオグリーンケミストリーの時代



日本農芸化学会中部 第129回支部例会 若手シンポジウム

『分子レベルからの生物機能探究』

日時：平成12年9月9日（土）13：25～16：30

会場：長野県林業大学校

（長野県木曽福島町新開4385-1）

バンレイシ科アセトゲニン類の合成研究

真壁秀文 （信州大・農）

低分子プローブを用いたアブシジン酸受容・代謝機構の解明

轟 泰司 （静岡大・農）

植物におけるペプチド性細胞増殖因子

ーファイトスルフォカインの発見から受容体へ

松林嘉克（名大院・生命農学）

セルロースの生合成及び生分解におけるセルラーゼの機能

天野良彦 （信州大・工）

終了後、懇親会を予定しています

交通：JR中央西線木曽福島駅下車

おんたけ交通バス「開田高原線又は一の萱線」10分、社会体育館前、徒歩1分

木曽福島駅発 （開田高原線）11:45 13:05 14:32（一の萱線）12:20 14:19

社会体育館前発 16:50 18:28

（駅前からタクシーも利用できます、約5分）

名古屋方面から 中央道中津川ICから国道19号を北上

「木曽大橋交差点」左折（高山・開田方面），約500m

松本・塩尻方面から 国道19号「木曽大橋交差点」右折，約500m

世話人： 廣田 満

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304

信州大学農学部部応用生命科学科

Tel: 0265-77-1605 Fax: 0265-77-1629

E-mail: hirotam@gipmc.shinshu-u.ac.jp

主催：日本農芸化学会中部支部

名古屋大学大学院生命農学研究科内

Tel: 052-789-5744 Fax: 052-789-5744

日本農芸化学会中部支部第132回例会 若手シンポジウム 『グライコサイエンスー21世紀の展開ー』

日時：2001年7月28日（土）13：30～16：30

場所：三重大学生物資源学部（三重県津市上浜町1515）

13:30-13:35 開会の挨拶

13:35-14:15 ウイルスレセプターとしてのリポ多糖－ ϕ X174
の宿主認識機構に迫る
稲垣穰（三重大・生物資源）

14:15-14:55 遺伝子組換え組織性プラスミノージェンアクチベーター(t-PA)の糖鎖の役割
北川優（東洋紡・総合研）

14:55-15:05 休憩

15:05-15:45 糖タンパク質糖鎖部分の構造上の特徴と生体内に
おける役割について
竹川薫（香川大・農）

15:45-16:25 糖鎖ライブラリーの構築とその応用展開
村田健臣（静岡大・農）

16:25-16:30 閉会の挨拶

17:00-18:00 懇親会

参加費2000円。電子メールで sakka@bio.mie-u.ac.jp までお申し込みください。当日申し込みも可能です。

- 交通：1 津駅東口からバスで約10分、「大学前」下車
2 津駅東口からタクシーで約10分
3 近鉄江戸橋駅から徒歩で約15分

江戸橋から会場までの地図と、講演要旨は農芸化学会中部支部のホームページ
([HTTP://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~jsbba](http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~jsbba))に掲載しております。

世話人：田中晶善

〒514-8507 三重県津市上浜町

1515 三重大学生物資源学部

E-mail: akiyoshi@bio.mie-u.ac.jp バイオサイエンス・バイオテクノロジーのフロンティア

Fax：059-231-9684



主催：日本農芸化学会中部支部

名古屋大学大学院生命農学研究科内

Tel: 052-789-4143

Fax: 052-789-4145

日本農芸化学会中部支部第133回例会

日時： 平成13年 9月29日（土）12：30 より
会場： 名古屋大学農学部（名古屋市千種区不老町）
地下鉄東山線東山公園駅より徒歩12分

12:30 支部長挨拶

12:35 功労賞授与式

受賞記念講演

13:00 日本農芸化学会賞

光に応答する植物遺伝子に関する応用分子生物学的研究
佐々木 幸子（名大院・生命農学研究科）

13:50 農芸化学奨励賞

培養肝細胞の機能維持に関する細胞生物学的・
分子栄養学的研究
小田 裕昭（名大院・生命農学研究科）

14:20 農芸化学奨励賞

ペプチド性植物細胞増殖因子に関する研究
松林 嘉克（名大院・生命農学研究科）

15:00 一般講演

17:30 懇親会 名古屋大学 東山グリーンサロン内 ”花の木”
懇親会費：一般 2,000 円、学生無料

東山公園駅から会場までの地図とプログラムおよび特別講演要旨は、農芸化学会中部支部のホームページ（[HTTP://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~jsbba](http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~jsbba)）に掲載しております。

主催：日本農芸化学会中部支部
名古屋大学大学院生命農学研究科内
世話人 中野秀雄
e-mail: hnakano@agr.nagoya-u.ac.jp
Tel: 052-789-4143
Fax: 052-789-4145



受賞記念講演 シンポジウム「食品微生物科学の新世紀」

- 日 時：平成14年6月15日(土) 13:10～17:35
- 場 所：長野県松本文化会館・国際会議室
- 参加費無料

プログラム

日本農芸化学会受賞記念講演

13:10～13:15	はじめに	(日本農芸化学会関東支部長) 北原 武
13:15～13:45	平成14年度農芸化学奨励賞 「かびの生産する抗酸化物質Bisorbicillinoid類に関する 生物有機化学的研究」	(静岡県大・食品栄養科学) (現東京農大・応用生物科学) 阿部 尚樹
13:45～14:15	平成14年度農芸化学奨励賞 「真正細菌における主要シグマ因子の多型性に関する研究」	(東京大・分生研) 田中 寛
14:15～14:45	平成14年度農芸化学奨励賞 「真正細菌SRP RNAの蛋白質分泌・翻訳過程における 多機能性についての研究」	(筑波大・生物科学系) 中村 幸治
14:45～15:15	平成14年度農芸化学奨励賞 「皮膚表皮に存在するカルシウム依存性蛋白質架橋酵素の発現と 活性調節機構に関する研究」	(名大院・生命農) 人見 清隆

シンポジウム

「食品微生物科学の新世紀」

15:25～15:30	世話人あいさつ	(信州大学農学部応用生命科学科) 柴井博四郎
15:30～16:00	「枯草菌胞子と細胞表層の研究」	(信州大・繊維) 関口 順一
16:00～16:30	「最近の乳酸菌研究の動向について」	(明治乳業(株)食品機能研究所) 佐々木 隆
16:30～17:00	「醸造酵母における育種の新展開」	(山梨大・生命工) 飯村 穰
17:00～17:30	「こうじ菌の酵素生産制御について」	(名大院・生命農) 塚越 規弘
17:30～17:35	おわりに	(日本農芸化学会中部支部長) 大澤 俊彦

廣田 満(信州大学農学部応用生命科学科)

■ 問 合 せ 先 ■

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304 信州大学農学部応用生命科学科
TEL: (0265) 77-1605 FAX: (0265) 77-1629 E-mail: hirotam@gipmc.shinshu-u.ac.jp

日本農芸化学会中部支部第135回例会

若手シンポジウム

『食品科学研究の新しい潮流』

日時：2002年7月27日(土) 13:00～16:45

会場：岐阜大学農学部 (〒501-1193 岐阜市柳戸1-1)

*地図は<http://www.gifu-u.ac.jp/annai/annaimap.html>でご覧になれます。



(13:00～13:05) 開会の挨拶

長岡 利 (岐阜大学農学部)

(13:05～13:10) 支部長挨拶

大澤俊彦 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

(13:10～13:40) 「香辛野菜中の機能性含硫成分 - タマネギとワサビの化学」

森光康次郎 (お茶の水女子大学生生活科学部)

(13:50～14:30) 「エピガロカテキンガレート (EGCg) の抗環境ホルモン作用」

近藤昭宏 (タカラバイオ(株))

(14:30～15:10) 「運動・栄養と中枢性疲労発生機構」

井上和生 (京都大学大学院農学研究科)

(15:10～15:20)

休憩

(15:20～16:00) 「新しいコレステロール代謝改善ペプチド」

長岡 利 (岐阜大学農学部)

(16:00～16:40) 「体細胞クローン技術と形質転換家畜の作出」

高橋清也 (独立行政法人・農業技術研究機構)

(16:40～16:45) 閉会の挨拶

早川享志 (岐阜大学農学部)

(17:00～18:00) 懇親会 (岐阜大学農学部)

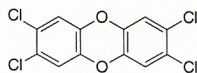
参加費2000円。下記までお申し込みください。

当日申し込み可。

懇親会申込先：中川 寅 (岐阜大学農学部)

E-mail : nakagawa@cc.gifu-u.ac.jp

Fax : 058-293-2910



交通：(1) バス利用の場合は、名鉄新岐阜駅前バスのりば4番 (UFJ銀行前) から
岐阜バス「岐阜大学」行き、又はJR東海岐阜駅前バスのりばから
「岐阜大学」行きで約30分「岐阜大学」下車

(2) タクシー利用の場合は、名鉄新岐阜駅、又はJR東海岐阜駅から、約20分
問合せ先 (世話人)：〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

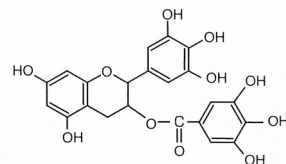
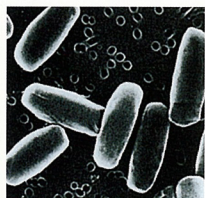
岐阜大学農学部 長岡 利

TEL& FAX 058-293-2931

E-mail: nagaoka@cc.gifu-u.ac.jp

* 中部支部のホームページにも詳細な案内を掲載します。

<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~jsbba/>



日本農芸化学会

2003年度 関西・中部支部合同大会

日時 10月4日(土)・5日(日)

会場 ぱ・る・るプラザ京都および京都大学農学部本館

参加費: 一般2,000円 学生1,000円

第1日目 10月4日(土) 会場: ぱ・る・るプラザ京都

【シンポジウム】 13:30～16:50

テーマ: 「応用研究が拓く新しいバイオサイエンス」

1. ヒトABCトランスポーター機能解析からゲノム創薬バイオテクノロジー・クラスター形成へ
石川 智久 (東工大院・生命理工)
2. タンパク質相互作用の大規模解析
夏目 徹 (産総研・生物情報解析研)
3. 細胞を用いた糖鎖ライブラリーの構築とグリコミクスへの応用
4. 無細胞タンパク質合成系を用いたハイスループットスクリーニング技術の開発と応用
中野 秀雄 (名大院・生命農学)
5. 企業における微生物を用いる生産プロセス開発 -CDPコリンを中心として-
藤尾 達郎 (協和発酵(株))
6. NEDOプロジェクト: 植物による工業原料生産技術の開発
新名 惇彦 (奈良先端大院・バイオサイエンス)

【懇親会】 17:30～19:30

懇親会費 一般7,000円, 学生4,000円

第2日目 10月5日(日) 9:00～17:30 会場: 京都大学農学部本館

【日本農芸化学会賞受賞講演】 13:00～14:20

1. 有用物質生産のための微生物プロセスの開発に関する基盤研究
清水 昌 (京大院・農)
2. ペプチド性新植物細胞増殖因子ファイトスルフォカインに関する研究
坂神洋次 (名大院・生命農学)

【一般講演】 9:00～17:30

【支部評議会】 11:30～12:50

詳しくはホームページをご覧ください。
<http://jsbba-kansai.kir.jp/>

実行委員長: 加藤暢夫 (京大院・農)

大会事務局: 京都大学大学院農学研究科内 日本農芸化学会関西支部 (庶務)

Tel: 075-753-6393, Fax: 075-753-6456

E-mail: nouka@kais.kyoto-u.ac.jp



受賞講演およびシンポジウム

「ポスト・ポストゲノム：糖と脂質の最前線」

◆日 時：平成16年6月26日(土) 13:00より

◆場 所：岐阜大学応用生物科学部

(〒501-1193 岐阜市柳戸1-1)

プログラム

13:00 総 会

13:20 支部長開会の挨拶
坂神 洋次 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

13:25 受賞講演
平成16年度日本農学進歩賞
植物のイオン輸送系の構造と機能に関する研究
魚住 信之 (名古屋大学生物機能開発利用研究センター)

14:10 シンポジウム「ポスト・ポストゲノム：糖と脂質の最前線」

14:10 開会の辞

14:15 「 α -ガラクトシル基を含むオリゴ糖の酵素合成とその機能」
橋本 博之 (信州大学農学部)

14:55 「糖脂質マイクロドメイン：細胞間相互作用を媒介する分子集合体」
北島 健 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

15:35 休憩 (10分)

15:45 「ペプチド及びポリフェノールの媒介する新しいコレステロール代謝調節系」
長岡 利 (岐阜大学応用生物科学部)

16:25 「スフィンゴ脂質の生理的役割」
小堤 保則 (京都大学大学院生命科学研究科)

17:05 閉会の辞

17:30 懇親会
岐阜大学第三食堂フォレスト (大学会館2階)
(参加費：無料)

● 問合せ先 ●

山内 亮 (岐阜大学応用生物科学部) 〒501-1193 岐阜市柳戸1-1
Tel & Fax: 058-293-2930 E-mail: yamautir@cc.gifu-u.ac.jp

中部支部庶務幹事

森山 龍一 (名古屋大学大学院生命農学研究科) 〒464-8601 名古屋市中区千種不老町
TEL: 052-789-4134 FAX: 052-789-4120 E-mail: moriyama@agr.nagoya-u.ac.jp

日本農芸化学会中部支部第141回例会 日本農芸化学会創立80周年記念講演会

日時：平成16年10月2日（土）13：00より

会場：名古屋大学野依記念学術交流会館（名古屋市千種区不老町）

プログラム

13:00 総会

13:30 日本農芸化学会
創立80周年
記念講演会

16:00 一般講演（ポス
ターセッション）
および懇親会

参加費：無料



日本農芸化学会創立80周年記念講演会

■ His-Aspリン酸リレー情報伝達機構の普遍性と多様性の体系的理解

水野 猛（名古屋大学大学院生命農学研究科）

■ アブラナの自家不和合性の分子機構

磯貝 彰（奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科）

■ 海洋生物毒の研究－化学と生物の楽しみ

安元 健（科学技術振興機構・沖縄県地域結集型共同研究事業）

主催：日本農芸化学会中部支部
支部長 坂神洋次（名古屋大学大学院生命農学研究科）

連絡先：464-8601 名古屋市千種区不老町
中部支部庶務幹事 内田浩二（名古屋大学大学院生命農学研究科）
（Tel：052-789-4127, Fax: 052-789-5741）
E-mail: uchidak@agr.nagoya-u.ac.jp

中部支部設立50周年 記念講演会

- ◆日 時：平成17年1月29日（土）13:00より
- ◆場 所：名古屋大学シンポジオン（〒464-8601 名古屋市千種区不老町）
- ◆講演会参加費：無 料

プログラム

- 13:00 開会の辞
坂神 洋次（中部支部支部長 名古屋大学大学院生命農学研究科）
- 13:05 祝 辞
熊谷 英彦（農芸化学会会長 石川県農業短期大学）
- 13:10 特別講演 「中部支部50年を振り返って」
瓜谷 郁三（名古屋大学名誉教授）
- 13:35 記念講演
「白血球接着分子L-セレクチンの内在性糖鎖リガンドへの化学生物学的アプローチ」
石田 秀治・木曾 真（岐阜大学応用生物科学部）
- 14:05 「グライコマテリアルズとしての人工複合糖質の機能設計」
碓氷 泰市（静岡大学農学部）
- 14:35 「イネ3量体Gタンパク質の構造と機能解析」
岩崎 行玄（福井県立大学生物資源学部）
- 15:05 休憩（20分）
- 15:25 「ゲノム科学が明かすアミノ酸発酵」
池田 正人（信州大学農学部）
- 15:55 「視覚的解析技術で生命の基本過程に迫る」
奥村 克純（三重大学生物資源学部）
- 16:25 「酸化ストレス制御と疾病予防」
大澤 俊彦（名古屋大学大学院生命農学研究科）
- 16:55 特別講演「機能性磁性微粒子を用いるガンの温熱免疫療法の開発」
小林 猛（中部大学応用生物学部）
- 17:35 閉会の辞
北川 泰雄（中部支部副支部長 名古屋大学大学院生命農学研究科）
- 18:00 祝賀会（シンポジオン2階「ユニバーサル・クラブ」にて）

● 問合せ先 ●

中部支部庶務幹事 森山龍一（名古屋大学大学院生命農学研究科）

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

TEL: 052-789-4134 Fax: 052-789-4120 E-mail: moriyama@agr.nagoya-u.ac.jp

大学院生が語るバイオの魅力



日時 2005年12月3日(土)
会場 パレブラン高志会館カルチャーホール (JR富山駅正面口から徒歩7分)
富山市千歳町 1-3-1 Tel. 076-441-2255 Fax. 076-441-1770

I. 講演 13:00 ~ 17:30 入場無料

レドックス制御機構を刺激する機能性食品因子

植物の病害応答反応に関わる細胞膜ABCトランスポーターの発見

ナミテントウ幼虫脱皮ホルモン受容体の構造解析

DNA複製のダイナミクス: 一本のゲノムDNA上でDNA複製をとらえる

アブシジン酸代謝阻害剤の創製とその応用

食品成分と感情

UDP-オリゴ糖の合成と生理活性研究

エノキタケの子実体形成に関与する遺伝子群の解析

酵母ユビキチンリガーゼRsp5の機能解析 — ストレスタンパク質の転写調節への関与 —

微生物が作る物質リポソドマイシンの化学合成

タンパク質架橋化酵素トランスグルタミナーゼに対する高反応性配列探索系の確立

ラクトスタチン(IIAEK)の媒介する新しいコレステロール分解調節系の解明

食品タンパク質に由来するペプチドによる昇圧酵素レニンの阻害

シロイヌナズナ液胞膜の膜蛋白質複合体の網羅的探索

大腸菌由来 γ -グルタミルシステイン合成酵素とButhionine sulfoximine との複合体のX線結晶構造解析

II. 懇親会 18:00 ~ 20:00 パレブラン高志会館内

問合せ先 〒939-0398 富山県射水市黒河 5180
富山県立大学工学部生物工学研究センター
Tel. 0766-56-7500 (内線561) Fax. 0766-56-2498

ポスター制作 富山県立大学 博士1年 平塚知成

名古屋大学 博士3年 柴田貴広

名古屋大学 博士3年 小八重善裕

名城大学 修士1年 森下知奈

三重大学 博士2年 杉村和人

静岡大学 博士1年 上野琴巳

静岡県立大学 博士3年 山田貴史

岐阜大学 博士2年 高久博直

信州大学 博士3年 山田雅人

福井県立大学 博士2年 灰谷豊

富山県立大学 博士2年 福西省平

名古屋大学 修士2年 杉村禎昭

岐阜大学 博士2年 森川健正

岐阜大学 修士2年 川端慎吾

名古屋大学 修士1年 増村友昭

福井県立大学 博士2年 仁位 寛

大利 徹
E-mail dairi@pu-toyama.ac.jp

日本農芸化学会中部支部第146回例会

シンポジウム「健康長寿の生命科学最前線」

食と栄養の視点から健康長寿社会構築を目指す 生命科学研究の最前線

日時：平成18年7月1日（土）13:00より

場所：信州大学農学部総合実験実習棟30番教室

中央道高速バス「伊那インター」または「伊那インター前」停留所より徒歩約12分

支部例会（参加費無料）

13:00 総 会

13:20 開 会

平成18年度農芸化学奨励賞受賞講演

「呼吸鎖電子伝達系を阻害するバンレイシ科アセトゲニンの有機化学的研究」 真壁秀文(信州大院・農)

シンポジウム

「わが国の栄養・食生活の現状と課題」

中村宗一郎(信州大・農)

「加齢研究の最前線」

橋爪潔志(信州大院・医)

「抗肥満研究の最前線」

宮下和夫(北大院・水産)

「希少糖研究の最前線」

早川 茂(香川大・農)

「腸管吸収研究の最前線」

清水 誠(東大院・農学生命)

17:25 閉 会

19:00 懇親会（参加費 懇親会5,000円，懇親会・宿泊12,000円）

シンポジウム終了後，信州大学農学部より懇親会会場までバスで移動予定

会場：信州大芝高原温泉「大芝荘」 <http://www.valley.ne.jp/~oshiba/>

399-4511長野県上伊那郡南箕輪村2358-5 Tel: 0265-76-0048, Fax: 0265-76-9655; 例会会場より車で約5分
宿泊の方は翌日朝食後に現地解散

最新情報は日本農芸化学会中部支部ホームページ (<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~jsbba/>) をご覧下さい

例会の問合先：千 菊夫（信州大学農学部応用生命科学科）

住所 長野県上伊那郡南箕輪村8304

Tel: 0265-77-1613 Fax: 0265-77-1629 E-mail: kik1000@shinshu-u.ac.jp

懇親会/宿泊の申込先：薬師寿治（信州大学農学部）

399-4598 同上

Tel: 0265-77-1611 Fax: 0265-77-1629 E-mail: alfista@shinshu-u.ac.jp

中部支部問合先： 中部支部庶務幹事

饗場浩文(名古屋大学大学院生命農学研究科)

464-8601名古屋市千種区不老町

Tel/Fax: 052-789-4093 E-mail: aiba@agr.nagoya-u.ac.jp

公開シンポジウム「化学と生物がきりひらく世界」

日時:平成18年10月21日(土)13:00より

会場:名古屋大学 野依記念学術交流館(名古屋市千種区不老町)

プログラム

13:10 シンポジウム
「化学と生物がきりひらく世界」

15:15 一般講演
(ポスターセッション)

ならびに

維持会員賞(奨励賞)
表彰式

懇親会

参加費:無料

公開シンポジウム「化学と生物がきりひらく世界」

- 「ゲノム研究がきりひらく作物分子育種」 松岡 信 (名古屋大学)
- 「化学で迫る謎解き:花が香る仕組み」 渡辺修治 (静岡大学)
- 「「たまご」から新たな創造、ロマン ―農芸化学が生み出した価値―」
長谷川峯夫 (キューピー)
- 「太るメカニズム、やせるメカニズム:生活習慣病との深いかかわり」
河田照雄 (京都大学)

主催:日本農芸化学会中部支部

支部長 北川 泰雄(名古屋大学大学院生命農学研究科)

連絡先:464-8601 名古屋市千種区不老町
中部支部庶務幹事 小田裕昭(名古屋大学大学院生命農学研究科)
(Tel: 052-789-4124, Fax. 052-789-5050)
E-mail: hirooda@agr.nagoya-u.ac.jp

一般講演申し込みなど詳細は日本農芸化学会中部支部ホームページ(<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~jsbba/>)をご覧ください。

三重大 生物資源 12月9日(土)13時

あなたの 未来がここにある

ものづくり中部から発信する 「最新食品科学・農芸化学研究の動向」

日時 平成18年12月9日(土) 13:00~17:00

会場 三重大学 生物資源学部 大講義室

対象 高校生、大学生、大学院生、高校・大学の先生、若手研究者、企業の人、一般の人

参加費 無料

I 講演 13:00~15:00 大講義室

ミツバチ生産物の科学

新しい分散技術を用いたナノおよびマイクロカプセルの調製

乳酸菌を利用したソーセージの機能改善

食品ゴミを有用化学物質としてとらえた利用法

静岡県立大学 熊澤 茂則 氏

岐阜大学 岩本 悟志 氏

名城大学 林 利哉 氏

三重大学 三島 隆 氏

II ポスター発表・交流会 15:00~17:00

化学、生物、食品、バイオ 関連の大学院生、先生、企業の人が発表します

あなたの知りたいことについて気楽に話し合おう

アクセス方法

近鉄江戸橋駅から徒歩15分

津駅東口前バスセンター「4番のりば」「大学前」下車

津駅東口からタクシーで約10分

主催 日本農芸化学会中部支部

共催 中部食品科学研究交流会

生物資源有効活用研究会 (みえメディカルバレー)

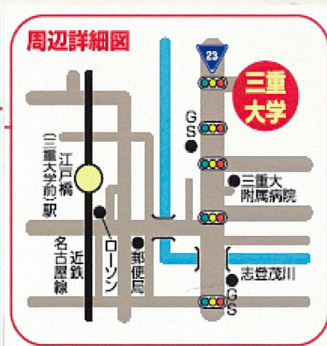
後援 三重大学・三重大学大学院生物資源学研究科

問い合わせ先〒514-8507 津市栗真町屋町1577

三重大学大学院生物資源学研究科 勝崎裕隆

tel 059-232-1211(内線2569) fax 059-231-9540

E-mail katsuzak@bio.mie-u.ac.jp



公開シンポジウム

「食品の安全に寄与する科学者たち： 日本における食の現状と対応」

日時：平成19年6月23日（土）13:00より
会場：岐阜大学応用生物科学部101大講義室
プログラム

13:00 総会
13:25 受賞講演
平成19年度日本農芸化学会技術賞
「食酢の健康機能とおいしさの解明に基づく新飲用黒酢の開発」
大島芳文、多山賢二、赤野裕文、○岸 幹也
(株・ミツカングループ本社)
13:55 シンポジウム
17:10 懇親会（参加費無料）

公開シンポジウム

「食品の安全性とリスクアナリシス」 山田友紀子（農水省・消費安全局）
「食の安全を揺るがせたBSE問題とその後」 石黒直隆（岐阜大・応生・獣医）
「食品の放射線照射の現状と課題」 林 徹（農研機構・食総研）

主催：日本農芸化学会中部支部

共催：岐阜大学、応用生物科学部、食品生命科学課程

世話人・問合せ先：〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

早川享志（岐阜大学応用生物科学部食品生命科学課程）

Tel: 058-293-2929, E-mail: hayakawa@gifu-u.ac.jp

中部支部問合せ先：〒464-8601 名古屋市千種区不老町

中部支部庶務幹事 小田裕昭（名古屋大学院生命農学研究科）

Tel: 052-789-4124, E-mail: hirooda@agr.nagoya-u.ac.jp

アクセス方法

JR岐阜駅・名鉄新岐阜駅から、岐阜バスで岐阜大学または岐阜大学病院行き（忠節橋経由）または、（り）岐阜大学病院行き（長良橋経由）に乗車、岐阜大学下車（約30分、310円）

最新情報は、日本農芸化学会中部支部ホームページをご覧ください。

URL: <http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/jsbba/>

（岐阜大学応用生物科学部ホームページ上でも案内予定）



(社) 日本農芸化学会

2007年度関西支部・中部支部合同大会

日時：平成19年9月21日（金）～22日（土）

会場：中部大学（愛知県春日井市松本町1200）

プログラム

9月21日（金）シンポジウム（13:00～16:50）

「最近の発酵食品技術研究の展開」

「紫黒米を利用した有色みりん・食酢の開発」	伊藤 彰敏（愛知県産技研食工技センター）
「醤油醸造における小麦アレルギー分解の究明」	古林 万木夫（ヒガシマル醤油（株））
「穀類中の農薬及びカビ毒の分析法」	渡井 正俊（（財）日本食品分析センター）
「清酒酵母は他の酵母とどこが違うのか？」	下飯 仁（（独）酒類総合研究所）

「微生物の環境適応戦略とその応用」

「食品変敗や食中毒を誘発するグラム陽性菌休眠胞子の外環境に応答した発芽機構の解明」	森山 龍一（中部大学）
「放線菌の形態・生理的分化における遺伝子発現制御機構の解明」	大西 康夫（東京大学）
「異常タンパク質生成を伴うストレスに対する酵母の適応機構の解析とその応用」	高木 博史（奈良先端科学技術大学院大学）
「自然界におけるC1酵母の環境適応戦略とメタノール誘導性遺伝子発現」	阪井 康能（京都大学）

「遺伝子の発現制御と天然生理活性物質」

「肥満・糖尿病を予防・改善する食品由来の生理活性物質」	河田 照雄（京都大学）
「骨破壊抑制および骨形成促進活性を有する食品由来生理活性物質」	禹 済泰（中部大学）
「破骨細胞分化におけるプロテインホスファターゼの役割」	大西 素子（中部大学）
「レプトマイシンBによるサイクリンD1遺伝子発現抑制機構」	井本 正哉（慶応義塾大学）

懇親会（於 名古屋メルパルク、18:00～）

9月22日（土）

一般講演（9:10～11:10、および13:00～17:00）

受賞記念講演（11:10～）

技術賞「食酢の健康機能とおいしさの解明に
基づく新飲用黒酢の開発」（株）ミツカン

学会賞「微生物『超チャネル』に関する分子
生物学的・構造生物学的研究」
村田 幸作（京都大学）

日本学術会議との共同主催による

公開シンポジウム「食と健康」（13:00～）

「食品の抗感染・抗アレルギー機能について」
上野川 修一（日本大学生物資源科学部）

「すごい微生物の力ー農芸化学における微生物研究ー」
熊谷 英彦（石川県立大学）

「食を生産する基盤としての土壌や環境の問題」
陽 捷行（北里大学）

大会参加費：無 料
（ただし懇親会は一般6,000円、学生2,000円）

連絡先：487-8501 愛知県春日井市松本町1200

日本農芸化学会関西支部・中部支部実行委員会 総務 森山 龍一（中部大学応用生物学部食品栄養科学科）

（Tel & Fax：0568-51-6084, E-mail：moriyama@isc.chubu.ac.jp）

詳細は日本農芸化学会中部支部または関西支部のホームページ（<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~jsbba/>、もしくは
<http://jsbba-kansai.kir.jp/>）をご覧ください。

「酸化ストレスに挑む：抗酸化性物質研究の現在」

日時：2007年11月17日(土)13:00-17:30

会場：静岡県立大学 5211講義室

参加費：無料

13:00 開会の挨拶

13:05 「酸化ストレスによる神経細胞死に対して保護作用を有する低分子化合物」
原 宏和(岐阜薬科大学医療薬剤学大講座)

13:35 「イソプレノミクスを基盤とした抗酸化剤の分子設計」
宇都 義浩(徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部)

14:05 休憩

14:10 「肝臓の脂質代謝に対するカテキンおよびカフェインの効果」
茶山 和敏(静岡大学農学部応用生物化学科)

14:40 「生物有機化学的展開を志向したカテキン類の合成」
古田 巧(静岡県立大学薬学部)

15:00 「カテキン類の安定性と蛋白質との反応性」
石井 剛志(静岡県立大学食品栄養科学部)

15:20 休憩

15:30 「環境ストレス(化学物質、心身ストレス等)が生体に及ぼす影響の解析およびそれを調節できる因子の探索」 榊原 啓之(静岡県立大学環境科学研究所)

15:50 「緑イ貝中の微量抗酸化活性脂質と抗炎症作用について」
脇本 敏幸(静岡県立大学薬学部)

16:10 「酸化修飾タンパク質のX線結晶構造解析」
伊藤 創平(静岡県立大学食品栄養科学部)

16:30 維持会員(企業会員)によるプレゼンテーション

17:35 懇親会
(参加費：一般 1,000 円、学生 500 円)

主催：日本農芸化学会中部支部
共催：静岡県立大学グローバルCOE

問合せ先：〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

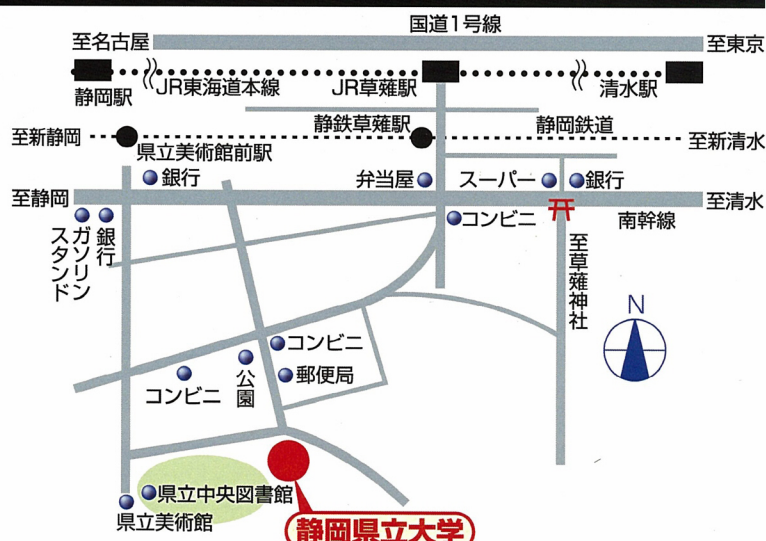
静岡県立大学 食品栄養科学部

酒井 坦 Tel: 054-264-5576

E-mail: sakaih@u-shizuoka-ken.ac.jp

杉山 靖正 Tel: 054-264-5555

E-mail: sugiyasu@u-shizuoka-ken.ac.jp



日本農芸化学会中部支部第152回例会 公開シンポジウム 「バイオエタノールと微生物の話」

主催：日本農芸化学会中部支部
日時：平成20年6月28日（土）13：00～
場所：三重大学大学院生物資源学研究科大講義室

13：00 総会

13：25 受賞講演（平成20年度日本農芸化学会奨励賞）

「微生物の多様な環境応答とその分子機構」

金丸京子（名大院 生命農学）

13：55 シンポジウム「バイオエタノールと微生物の話」

「木質系バイオマスからの組換え大腸菌を用いたエタノール生産」

奥田直之（月島機械（株））

「酸ストレス耐性酵母のゲノム育種工学」

原島 俊（阪大院 工）

「酸に耐性の酵母でエタノール生産の研究をはじめた動機」

久松 眞（三重大院 生物資源）

「リグノセルロース糖化並行発酵細菌のメタボリックエンジニアリング」

築瀬英司（鳥取大 工）

17：10 懇親会 三重大学 生協食堂（参加費：無料）

アクセス

近鉄「江戸橋駅」から、徒歩で約15分

近鉄・JR「津駅」東口バスのりば「4番」から、三交バス「白塚駅前」「棕本」「豊里ネオポリス」「三重大病院」「太陽の街」「サイエンスシティ」「三行」行きで、「大学前」下車。約10分。

世話人・問い合わせ先

栗冠和郎（三重大学大学院生物資源学研究科）

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

Tel: 059-231-9621, E-mail: sakka@bio.mie-u.ac.jp

中部支部問い合わせ先・中部支部庶務幹事

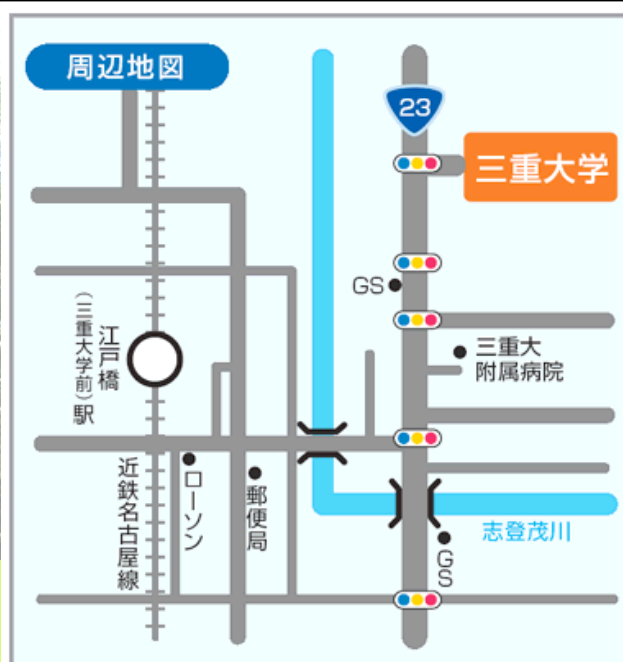
西川俊夫（名古屋大学大学院生命農学研究科）

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

Tel: 052-789-4115, E-mail: nisikawa@agr.nagoya-u.ac.jp

最新情報は日本農芸化学会中部支部のホームページで
ご確認下さい。

<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~jsbba/>



日本農芸化学会中部支部第153回例会

公開シンポジウム 「無酸素下で働く微生物 —嫌気性菌の世界— ～環境と健康の視点から～」

主催：日本農芸化学会中部支部

日時：平成20年11月1日（土）13：00より

会場：名古屋大学 シンポジオン（名古屋市千種区不老町）

13:00 開会挨拶および支部功労者表彰式

13:20 受賞講演（平成20年度日本農芸化学会賞）

「新しい酵素機能の開拓と産業利用に関する研究」

浅野泰久（富山県立大学）

14:00 シンポジウム

「無酸素下で働く微生物—嫌気性菌の世界

～環境と健康の視点から～」

「嫌気性微生物生態系とメタン生成」上木厚子（山形大学）

「ヒトの疾病と嫌気性菌」渡邊邦友（岐阜大学）

「嫌気性条件での芳香族塩素化合物の微生物分解」

片山新太（名古屋大学）

16:10 一般講演（ポスターセッション）

17:10 懇親会および維持会員賞（奨励賞）表彰式

参加費：無料



アクセス

名古屋市営地下鉄名城線「名古屋大学」下車
2番出入口より徒歩1分（豊田講堂東）

問い合わせ先・中部支部庶務幹事

浅川晋（名古屋大学大学院生命農学研究科）

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

Tel: 052-789-5509, Fax: 052-789-4136

E-mail: asakawa@agr.nagoya-u.ac.jp

**最新情報は日本農芸化学会中部支部
のホームページでご確認下さい。**

<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~jsbba/>

食の作り手 -新しい付加価値を求めて-

-プログラム-

参加無料

- I. 講演 13:00~15:10 101講義室
- 「ワイン醸造について～故きを温ねて新しきを知る」
安蔵 光弘 (メルシャン株式会社)
- 「イタリアのパネトーネ種でつくるロングライフパン」
丸山 佳美 (株式会社 コモ)
- 「実用化を意識した機能性食品素材の研究
-低アレルギー化小麦粉と新規機能性オリゴ糖の開発と評価-」
渡辺 純 ((独) 農研機構・食品総合研究所)
- 「機能性食品成分を見分ける糖鎖の利用法」
矢部 富雄 (岐阜大学 応用生物科学部)
- II. 学生によるプレゼンテーション 15:15~16:00 101講義室
- III. ポスター発表・交流会 16:00~17:30 第一会議室

会場：  岐阜大学 応用生物科学部

主催 日本農芸化学会中部支部
共催 岐阜大学
共催 中部食品科学研究交流会

問い合わせ先

〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1

岐阜大学応用生物科学部 岩本 悟志

tel & fax 058-293-2924

E-mail isatoshi@gifu-u.ac.jp

最新情報は、日本農芸化学中部支部HPをご覧ください。

<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~jsbba/>

-岐阜大学 キャンスマップ-



-岐阜大学へのアクセス-

岐阜駅・名鉄岐阜駅から、

- ・岐大ライナー
- ・岐阜大学・病院 行

に乗りし、岐阜大学下車。

所要時間：約25分
運賃：310円